

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	さくら市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	氏家雛めぐり	総事業費					2,301,726	2,301,726
		うち市町支出額					1,000,000	1,000,000
		うち県交付金					500,000	500,000
2	さくら市暮市花市	総事業費					1,118,181	1,118,181
		うち市町支出額					660,000	660,000
		うち県交付金					330,000	330,000
3	フットゴルフを活用した地域の魅力向上事業	総事業費	1,817,189					1,817,189
		うち市町支出額	1,817,189					1,817,189
		うち県交付金	908,594					908,594
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,817,189	0	0	0	3,419,907	5,237,096
		うち市町支出額	1,817,189	0	0	0	1,660,000	3,477,189
		うち県交付金	908,594	0	0	0	830,000	1,738,594

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	さくら市
事業名	氏家雛めぐり
事業主体の名称	さくら市氏家観光協会
代表者の名称	手塚 実
事業主体の所在	栃木県さくら市氏家1857-5
事業主体の概要	・団体の目的:氏家駅とさくら市役所周辺の商店街、公共施設及び個人宅に雛人形とつるし飾り等を飾り、県内外から多くの来場者を呼び込み、市街地の活性化とさくら市の更なるPRを目指す。 ・設立年月日:平成17年3月28日 ・構成員等:15名:
当該事業に係る地域の現状と課題	さくら市は県都・宇都宮に隣接し、都心からもアクセスがよく、「桜」「温泉」「伝統行事」など観光資源にも恵まれている。しかしその一方で、知名度の低さや年間観光客入込数が設定されたKPI目標値まで届かないことなど、明確な集客力不足が表面化している状況である。このような観光客数の伸び悩みは、持続可能な交流人口の増加や地域内経済循環の促進に直結する重大な問題である。さらにその影響は地域経済の停滞、後継者不足、ひいては伝統行事の存続にも波及する恐れがある。氏家雛めぐりでは毎年開催期間中約2万人の集客があるが、この事業を継続していくためには、さらなる集客力と事業の魅力向上が求められる。
事業目的	奥州街道沿いに位置する氏家地区は、かつて宿場町「氏家宿」として賑わい、数多くの商家が栄えた歴史を持つ。その伝統の中で、蔵などに大切に保管されてきた雛人形は、地域の歴史と文化を今に伝える貴重な資産である。2月初旬から3月初旬にかけて約1ヵ月間、市内約50ヶ所の「お飾り処」にこれらの由緒ある雛人形を展示する。期間中には雛衣装着付け体験、花ちりめんの織展、駅からハイキング、和楽器演奏等の音楽会開催のほか、周辺地域の地物野菜や特産品の販売も行われる。氏家雛めぐりは、さくら市の歴史・文化・観光資源を広くアピールするとともに交流人口の増加、市街地の活性化を目的とする。県内外からも訪問客がくることから、さくら市の魅力を知ってもらい雛めぐり以外でも継続的にさくら市を訪れてもらう機会を創出する。
事業概要	【R7年度】【I-a】 ・「お飾り処」につるし飾りや雛人形を展示 令和8年2月7日～3月8日開催 約15,000人参加 ・雛衣装着付け体験 令和8年2月7日～3月8日開催期間中の土日祝及び3月3日(火) 約200人参加 ・駅からハイキング 令和8年2月7日～3月8日開催 178人参加 ・和楽器演奏等の音楽会 令和8年3月7日開催 約500人参加 ・氏家おひな塾(一般の方向けの雛人形作成等のワークショップ開催) 令和8年2月7日～3月8日開催 約100人参加 ・ポイントラリー 令和8年2月7日～3月8日開催 約2,500人参加 ・氏家駅前で地元野菜や特産品の販売を行い、来場者に地域特産品のPRを図った。 氏家雛めぐり開催前後には期間内に来ることができない方や地域住民の方のために市内展示館にて氏家雛めぐりの企画展を開催し、氏家雛めぐりの雰囲気味わってもらった。また、今回も同じ場所に同じ雛人形を飾るのではなく、年ごとに展示を入れ替えることで、常に新鮮な気持ちで楽しんでいただける工夫を凝らした。さらには、小さなお子様連れファミリー層を対象としたワークショップ等も開催し、雛めぐりを通じてさくら市をより身近に感じてもらうような場づくりを実施した。 【R8年度以降】 引き続き前年度事業を継続し、雛めぐりととし、さくら市の活性化および伝統文化継承を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】定住人口・交流人口を増やす 施策名:地域資源を生かした観光の振興 【KPI】年間観光客入込数 (R6):1,775,392人⇒目標値(R7)2,100,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳					(単位:円)	
	令和7年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度	
事業内容	・JR氏家駅前およびさくら市役所周辺の約50ヶ所の「お飾り処」につるし飾りや雛人形を展示する。 ・雛衣装着付け体験 ・駅からハイキング開催 ・音楽会開催 ・氏家駅前で地元野菜や特産品の販売を行う。				・JR氏家駅前およびさくら市役所周辺の約50ヶ所の「お飾り処」につるし飾りや雛人形を展示する。 ・雛衣装着付け体験 ・駅からハイキング開催 ・音楽会開催 ・氏家駅前で地元野菜や特産品の販売を行う。	
事業費	2,301,726			2,301,726	2,100,000	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000			1,000,000	1,000,000	
うち県交付金	500,000			500,000		
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	0	
うち県交付金	0			0		
その他自主財源等	1,301,726	0	0	1,301,726	1,100,000	

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	さくら市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	氏家雛めぐり	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	1,000,000	
企業協賛金収入	511,500	
委託販売手数料	189,458	
事業収入	185,350	グッズ売上、雛衣装着付け代
参加金	201,000	
雑収入	9,770	
利息	943	
出店料	8,000	
繰越金	195,705	
計	2,301,726	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
印刷製本費	367,710	367,710	183,855	0	パンフレット、ポスター、マップ、 飲食マップ印刷
通信運搬費	94,741	0	0	94,741	雛めぐり開催に係る通信費
消耗品費	32,651	0	0	32,651	コピー用紙、事務用品、清掃 用具、展示用品
委託料	254,437	79,530	39,765	174,907	グッズ作成費、DVD作成費
備品購入費	128,760	128,760	64,380	0	雛台等材料費
保険料	57,430	0	0	57,430	スタッフ及び来場者用 保険加入
使用料及び賃借料	204,000	204,000	102,000	0	空き店舗及び公民館使用料
手数料	3,630	0	0	3,630	振込手数料、両替手数料
燃料費	13,935	0	0	13,935	
賃金	680,000	0	0	680,000	観光協会人件費 駐車場警備等に係るシル バー人材人件費
報償費	220,000	220,000	110,000	0	謝礼
予備費	244,432	0	0	244,432	
計	2,301,726	1,000,000	500,000	1,301,726	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号ー5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	さくら市
事業名	さくら市暮市花市
事業主体の名称	さくら市暮市花市実行委員会
代表者の名称	実行委員長 中村卓資
事業主体の所在	栃木県さくら市氏家2771
事業主体の概要	・団体の目的:伝統的な行事の継承に加え、氏家地区の中心市街地の活性化と交流人口の増加を図る。 ・設立年月日:平成17年3月28日 ・構成員等:6名
当該事業に係る地域の現状と課題	暮市花市の会場となっている氏家地区の中心街は、普段は多くの店舗がシャッターを下ろしており、地域の活気が著しく薄れている現状である。また、さくら市全体の年間観光客入込数も設定されたKPI目標に届いておらず、明確な集客力不足が表面化している。 このような観光客数の伸び悩みは、持続可能な交流人口の増加や地域内経済循環の促進に直結する重大な問題である。さらにその影響は地域経済の停滞、後継者不足、ひいては伝統行事の存続にも波及する恐れがある。したがって、住民、地域団体、事業者が横断的に連携し、観光資源を効果的に活用することが不可欠であり、地域の将来・地域発展を見据えた緊急かつ包括的な対策が求められる状況である。
事業目的	年末年始に氏家地区の中心市街地を歩行者天国とし露天店舗を出店することに加え、お囃子演奏や御神輿の練り歩きなどの伝統行事を行い、市民や帰省客をはじめ市内外からの観光客を誘致し、交流人口の増加と地域活性化を目的とする。また、お囃子や御神輿といった伝統文化の存続と継承も目的としている。県内外からも訪問客がくることから、さくら市の魅力を知ってもらい暮市花市以外でも継続的にさくら市を訪れてもらう機会を創出する。
事業概要	【R7年度】【I-d】 ○暮市 12月20日(土)開催 約5,000人来場 上町交差点～伝馬町交差点 ・栃木県街商協同組合による、露天店舗の出店 ・氏家お囃子会及び氏家子どもお囃子会によるお囃子演奏 ・氏家神輿会による神輿渡御 ○花市 1月7日(水)開催 約3,000人来場 上町交差点～三森金物屋店前交差点 ・栃木県街商協同組合による、露天店舗の出店 暮市では、地元商工会による「氏家うどん」の販売や地域商店の飲食提供、歳末福引きなどを通じて、地元特産品のPRと商店街の活性化を図った。これらにより、地域住民だけでなく市外からの観光客にも、地域の魅力をより深く伝えることができた。また、お囃子や御神輿などの伝統文化については、単に鑑賞してもらうだけでなく、事前の音合わせや準備といった「イベントの裏側」を公開し、地域文化への理解と愛着を深めてもらう取組を行った。 【R8年度以降】 引き続き前年度事業を継続し、市民の交流や年末年始のさくら市の活性化を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】定住人口・交流人口を増やす 施策名:地域資源を生かした観光の振興 【KPI】年間観光客入込数 (R6):1,775,392人⇒目標値(R7)2,100,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

				(単位:円)	
	令和7年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・栃木県街商協同組合による、露天店舗の出店 ・氏家お囃子会及び氏家子どもお囃子会によるお囃子演奏 ・氏家神輿会による神輿渡御				・栃木県街商協同組合による、露天店舗の出店 ・氏家お囃子会及び氏家子どもお囃子会によるお囃子演奏 ・氏家神輿会による神輿渡御
事業費	1,118,181			1,118,181	1,117,583
市町支出金 (ソフト事業分)	660,000			660,000	737,500
うち県交付金	330,000			330,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	128,181	0	0	458,181	380,083

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	さくら市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	さくら市暮市花市	
対象年度	7	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
暮市負担金	160,000	栃木県街商協同組合
花市負担金	130,000	栃木県街商協同組合
市補助金	660,000	さくら市補助金
協賛金	30,000	さくら市氏家観光協会
繰越金	137,583	
雑入	598	預金利息
計	1,118,181	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託料	716,700	660,000	330,000	56,700	警備費、音響設備設置費、清掃費
手数料	2,200	0	0	2,200	振込手数料
食糧費	57,960	0	0	57,960	お弁当代、会議お茶代
使用料及び賃借料	6,000	0	0	6,000	公民館使用料
消耗品費	18,624	0	0	18,624	看板固定用番線、トイレトペーパー
備品購入費	135,300	0	0	135,300	イベント看板
雑費	16,000	0	0	16,000	初穂料
予備費	165,397	0	0	165,397	
				0	
				0	
計	1,118,181	660,000	330,000	458,181	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号－5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合